

「阿賀野川流域地域の光と影を通じたESD-SDGs」教材化プロジェクト

目的 阿賀野川流域の小・中学校等において、新潟水俣病学習を含む地域の環境学習等を促進するために、授業で活用しやすいよう配慮され、かつ、それぞれの地域の光と影を反映させたESD-SDGsに基づく教材開発及び情報発信等を展開するもの。

H30 事業内容

平成30年度は、阿賀町の小・中学生が「郷土への誇りや愛着」を失うことなく、「環境問題からも教訓を学び取る力」を涵養するため、「阿賀町の近代産業の光と影」を題材にした教材（紙芝居&副読本）を開発した。

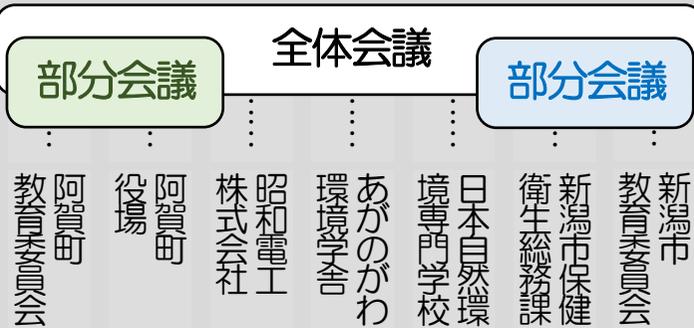


阿賀町内小・中学校3校・中学校1校・高校1校から学習を導入

令和元年度はコンソーシアムの範囲が新潟市まで拡大され、主に新潟市内の小・中学校を対象に、多忙な教員でも授業で新潟水俣病学習に取り組み易くなるよう、教員や授業をサポートする教材を中心に制作する。

R1 事業内容

実施体制（コンソーシアム）



コンソーシアムの事務局



今後 阿賀流域の小・中学校等で活用!

情報発信



教材サイトを立ち上げ

H30年度は制作した教材データをサイトに掲載。

教材サイト&ESD イベント等で情報発信

R1年度は教材サイトに教材データや授業情報を掲載するほか、全国のESDイベントでの情報発信にも注力。



用語解説



SDGs = Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。国連サミットで2015年に採択された2030年までの国際目標で、17のゴール（目標）・169のターゲットからなる。世界の国々で流行しており、日本でも政府や大企業が取り組み、徐々に地方に浸透しつつある。



ESD = Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略。環境学習や人権教育、地域の歴史・文化学習など、環境・経済・社会の多様な側面を総合的に学ぶ教育のこと。